

第3次恵那市総合計画 KPI（目標指標）一覧

R7.4.17時点

No.	基本方針	取組の柱	取り組み	KPI	基準値	単位	基準年度		目標値	単位	目標値の根拠	データ出典
1	1. 未来を担うひとを育む	(1) こども・子育て支援の充実	①ライフステージに応じた切れ目ない支援	理想の子どもの数と実際に持つ つもりの子どもの数の差	0.72	人	R6年度	→	0.70	人	過去4年間の推移を見ると、年平均0.03人ずつ増加している。1年目で、まずは基準値±0人まで増加傾向を改善した後、2年目以降は毎年0.01人程度減少させる。	恵那市市民意識調査
2			②こどもの将来を支える環境整備	将来の夢や目標を持っている中 学生の割合	67.5	%	R6年度	→	70.0	%	過去4年間の推移を見ると、年平均0.73%増加している。取り組みの推進によるさらなる増加を見込み、毎年1%程度の増加を目指す。	全国学力・学習状況調査
3			③支援が必要なこどもや子育て家庭への支援	こども発達センター利用者評価 「大いに満足」の割合	71.4	%	R6年度	→	75.0	%	過去3年間の推移を見ると、年平均1%ずつ増加している。今後4年間も、同程度の毎年1%程度の増加を目指す。	こども発達センター利用者アンケート
4		(2) 保育・教育環境の充実	①幼児教育・保育の充実	「子どもは園の生活を通じて成長している」と思う保護者の割合	85.2	%	R6年度	→	90.0	%	過去4年間の推移を見ると、4年間で4.3%増加している。取り組みの推進によるさらなる増加を見込み、4年間で4.8%（4.3%+0.5%）の増加を目指す。	恵那市立こども園保護者評価
5			②学校教育の充実	「地域や社会をよくするために 何かしてみたいと思う」児童生徒の割合	78.9	%	R6年度	→	83.0	%	基準値の79%がすでに高水準であり、今後、大幅な増加は難しいものの、段階的かつ達成可能な伸び幅として毎年1%の増加を目指す。	全国学力・学習状況調査
6			③教育・保育環境の整備	「学校に行くのは楽しいと思う」児童生徒の割合	84.5	%	R6年度	→	89.0	%	過去3年間の推移を見ると、年平均1.4%ずつ増加している。今後4年間も同程度の毎年1%～1.5%ずつ増加を目指す。	全国学力・学習状況調査
7		(3) 生涯学習・文化・スポーツ活動の振興	①生涯学習の推進	コミュニティセンターを拠点とした学習機会への参加者数	4,401	人	R6年度	→	5,300	人	過去3年間の推移を見ると、3年間で約19%増加している。人口減少や高齢化で参加者数の母数が減っていく中でも、取り組みの推進により、今後4年間でも同程度の20%の増加を目指す。	社会教育課集計
8			②文化振興の推進	伝統文化継承・歴史資産保存の担い手の数	250	人	R6年度	→	250	人	人口減少や担い手の高齢化が進む中でも、取り組みの推進により、現状維持を目指す。	文化課集計
9			③スポーツ振興の推進	週に1回以上運動やスポーツを実施している人の割合	【調整中】	%	R7年度	→	【調整中】	%	【調整中】 令和7年4月末期限で実施中のアンケートで基準値を調査中。 令和7年5月に基準値、目標値を設定予定。	市民意識調査

No.	基本方針	取組の柱	取り組み	KPI	基準値	単位	基準年度		目標値	単位	目標値の根拠	データ出典
10	2. 安心・健康に暮らせる	(4) 健康づくりの推進と医療・救急体制の充実	①健康づくりの推進	国保特定健診での高血圧の市民の割合	29.9	%	R5年度	→	27.0	%	R4年度の岐阜県の実績値が27.1%になっているため、まずは県の値を目標に上昇を抑え、R6年度に30%、そこから年0.5%減少を目指す。	岐阜県市町村国保特定健診報告
11			②地域医療体制の充実	医療環境が良いと感じる市民の割合	22.0	%	R6年度	→	27.0	%	過去4年間の推移を見ると、年平均1.8%ずつ増加している。今後も、年1~2%ずつの増加を目指す。	恵那市市民意識調査
12			③救急体制の整備推進	バイスタンダーによる救命処置実施率	52.8	%	R6年度	→	70.0	%	過去4年間の推移を見ると、年平均1%ずつの増加だが、令和8年4月からの東濃5市消防通信指令業務の共同運用の開始により人員体制が強化されることから、年4~5%ずつの増加を目指す。	消防課集計
13		(5) 社会福祉・地域共生社会の推進	①地域福祉・自立支援の推進	地域のまちづくり活動やボランティア活動に参加した市民の割合	56.0	%	R6年度	→	61.0	%	過去4年間の推移を見ると、過去4年間で5.4%増加している。今後4年間でも、さらに同程度の5%増加させる。	恵那市市民意識調査
14			②相談・支援体制の充実	重層的支援体制による支援計画作成件数	4	件	R6年度	→	20	件	R6年度の1年間で、支援につなげた件数は4件。今後4年間も、毎年4件ずつの増加を目指す。	社会福祉課集計
15			③障がい者福祉の充実	成年後見人制度の利用者数	4	人	R6年度	→	10	人	現状の利用者数の推移は、毎年1~2人ずつの増加傾向。今後4年間でも、毎年1~2人ずつの増加を目指す。	社会福祉課集計
16		(6) 高齢者福祉の推進	①生きがいと健康づくりの推進	介護予防事業の延べ参加者数	18,987	人	R5年度	→	19,000	人	高齢者人口は減少に転じているが、その中でも、現状維持（横ばい）を目指す。	高齢福祉課集計
17			②日常生活への支援	認知症サポーター養成講座受講者数	234	人	R5年度	→	300	人	恵那市第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画におけるR8年度目標は300人としている。R8年度に目標の300人を達成し、以降は現状維持（横ばい）を目指す。	高齢福祉課集計
18			③暮らしを支える仕組みづくり	65歳以上高齢者の要支援・要介護認定率	17.6	%	R5年度	→	18.2	%	後期高齢者人口は当面、増加傾向であることが予想されるため、認定率の上昇は避けたいが、最小限（年0.1%程度）となるよう抑制を図る。	高齢福祉課集計

No.	基本方針	取組の柱	取り組み	KPI	基準値	単位	基準年度		目標値	単位	目標値の根拠	データ出典
19	3. 安全・快適に暮らせる	(7) 防災・消防機能・交通安全対策の強化	①防災・防犯対策の強化	指定避難場所を知っている市民の割合	86.0	%	R6年度	→	88.0	%	過去4年間の推移を見ると、横ばいで推移しているが、取り組みの推進により、数値が最も高かった令和3年度の実績値(87.7%)と同程度での現状維持を目指す。	恵那市市民意識調査
20			②消防機能の強化	住宅用火災警報器の設置率	69.1	%	R6年度	→	73.1	%	新築分で年0.75%ずつの増加が見込める。取り組みの推進による新築以外の住宅への設置も含め、毎年1%ずつの増加を目指す。	予防課集計
21			③交通安全対策の強化	人身事故発生件数	60	件	R6年度	→	56	件	過去5年間で最も人身事故発生件数の少なかったR5年度の件数(56件)を目標とする。	岐阜県警集計
22		(8) 都市基盤・公共交通の整備	①住みやすいまちづくりの推進	リニア基盤整備計画事業進捗率	15.1	%	R6年度	→	53.1	%	恵那市リニアまちづくり基盤整備計画事業の事業進捗率(個別事業の進捗率の積み上げ)	都市整備課集計
23			②快適な生活環境の維持・充実	重要管路の耐震化率 (上段：上水、下段：下水)	51.6	%	R5年度	→	78.8	%	恵那市上下水道耐震化計画(令和7年1月策定)では、概ね20年間で重要管路の耐震化を完了することを目指しており、R11目標値として上水は78.8%、下水は52.4%としているため。	上下水道集計
					35.7	%	R5年度	→	52.4	%		
24			③持続可能な公共交通の推進	公共交通機関の年間利用者数	500,472	人	R6年度	→	540,000	人	過去4年間の推移では、年平均7,000人ずつ増加している。今後も、同程度の7,000人+αで毎年10,000人ずつ増加させる。	交通政策課集計
25		(9) 自然・環境保全の推進	①自然との共生の推進	1人1日あたりのごみ排出量	758	g	R5年度	→	742	g	令和5年に策定した「恵那市一般廃棄物処理基本計画」では、R14年度に1人1日あたりのごみ排出量を720gにする目標を掲げており、R11年度は742gを目標としている。	環境課集計
26			②循環型社会の構築	再生利用率(リサイクル率)	59.3	%	R5年度	→	64.4	%	令和5年に策定した「恵那市一般廃棄物処理基本計画」では、R14年度に再生利用率(リサイクル率)を64.9%にする目標を掲げており、R11年度は64.4%を目標としている。	環境課集計
27			③ゼロカーボンシティの実現	太陽光システム設置件数(市内持ち家)	1,928	件	R4年度	→	3,100	件	令和4年に策定した「恵那市地球温暖化対策実行計画」では、R12年に市内持ち家の25%(3,200戸)に太陽光を設置する目標としている。過去4年間の推移を見ると、年平均100件ずつ増加しているが、今後は、更なる取り組みの推進により、毎年150～200件程度の増加を目指す。	環境課集計

No.	基本方針	取組の柱	取り組み	KPI	基準値	単位	基準年度		目標値	単位	目標値の根拠	データ出典
28	4. 活力・魅力を生み出す	(10) 産業・観光振興の推進	①産業振興の推進	恵那市商工振興補助金（起業支援事業）の適用件数	-	件	R7年度	→	80	件	過去4年間の推移を見ると、4年間で73件の実績。令和8年度から年20件の適用を目指す。	商工課集計
29			②雇用対策・企業誘致の推進	事業所の新規立地件数（企業等立地（再投資）奨励金・本社機能移転奨励金の適用件数）	-	件	R7年度	→	16	件	過去4年間の推移を見ると、4年間で18件、年平均3.6件。今後の4年間も同程度の年3.6件ずつと、恵那西工業団地A区画1件で16件を目指す。	商工課集計
30			③観光振興の推進	観光入込客数	343	万人	R5年度	→	410	万人	過去10年間の推移を見ると、観光入込客数が最も多かったのは、平成30年度の415万人。今後4年間で同程度の入込客数まで増加を目指す。	観光交流課集計
31		(11) 農林業振興の推進	①農業・畜産業振興の推進	認定農業者等の数	87	人	R6年度	→	92	人	過去4年間の推移を見ると、高齢による離農による減少もあるが、新規認定や集落営農の法人化による増加分との差し引きで年平均1～2人ずつ増加している。今後4年間も、毎年1～2人ずつの増加を目指す。	農政課集計
32			②食によるまちづくりの推進	学校給食の地元農産物使用率	20.6	%	R5年度	→	35.0	%	令和5年度の学校給食での地元農産物使用量をベースに、学校給食で多く使用される農産物や納入実績のある農産物が収穫できる時期に多く使用し、15%増加を目指す。	農政課集計
33			③林業振興の推進	林業従事者数	62	人	R5年度	→	67	人	10年前（平成25年度）の岐阜県森林林業統計書に記載の就業者数と同程度に戻すことを目指す。	岐阜県林業労働力調査
34		(12) 地域自治・地域振興の推進	①地域自治・地域福祉の推進	地域計画の基本目標の達成に向けた事業の実施率	0	%	R7年度	→	100	%	総合計画（基本計画）と計画期間が同じ地域計画において、基本目標を達成するための事業を全て達成することを目指す。	地域振興課集計
35			②地域振興・地域活性化の推進	ふるさと納税額	2.3	億円	R5年度	→	10.0	億円	過去5年間の推移を見ると、全国の寄附額の伸び率は平均約20%。今後は、さらなる取り組みを推進し、年平均25～30%ずつ増加させる。	交流連携課集計
36			③移住定住の推進	移住支援制度を利用して移住した人数	136	人	R5年度	→	150	人	過去4年間の推移を見ると、年平均約145人の移住がある。取り組みの推進により、今後4年間、毎年150人の移住を目指す。	地域振興課集計集計